



IRVINE UNIFIED SCHOOL DISTRICT

携帯電話をご使用の方は [ここをクリックしてください。](#)

IUSD コミュニティの皆さまへ

[以前お伝えしましたが](#)、COVID-19 パンデミックの間、知事が発出した外出禁止令に従い、IUSD のすべての学校は今学年度末まで引き続き臨時遠隔学習を提供していきます。この期間中の学校区の目標は、学年相応のスキル・内容の知識を構築するための学習活動、児童生徒・教員間のつながりの維持、児童生徒・ご家族・スタッフに課されるこの時期特有なさまざまな要求に対する説明を提供していくことです。この遠隔授業への移行で児童生徒が直面するかもしれない困難な状況によって害を受けることなく成績が評価されるように、異なったアプローチが必要となります。

これらの異常な状況下で、私たちは一部の児童生徒が新教材の処理、コース内容の理解、知識の明示において苦勞していることを承知しています。ご家族がこの病気により影響を受けていて、遠隔授業に完全に従事できない児童生徒または低所得・特別なニーズがある児童生徒にとっては、さらに大きな課題となっているかもしれません。この国全体に存在する不安、ストレス、内在する教育の不平等性を認識した上で、高等教育機関は児童生徒の学習を体系化するために最も公平なアプローチとしてクレジット（合格）/ノークレジット（不合格）のモデルを推奨しています。

これを踏まえ、昨夜の理事会で徹底的な議論と審議の結果、教育委員会は 2019-20 学年度の最終的な記録として、すべての児童生徒を対象に、IUSD スタッフが推薦した「クレジット（合格）/ノークレジット（不合格）」成績評価への移行を承認しました。理事会の決定には、臨時遠隔授業実施中に、学校区が児童生徒に「害を与えない」成績評価の実施を必要とする州教育委員会からの指示が含まれていました。この決定には、UC, CSU, 州立コミュニティカレッジ、スタンフォードのチャレンジサクセス、エリート大学の入学審査員などからのガイドラインと IUSD 校長、教員、リーダーシップ、オレンジ郡教育省やオレンジ郡学校区などからのフィードバックも含まれていました。このトピックの詳細については [よくある質問](#) でご確認ください。

このパンデミックの対応において、カレッジ・ユニバーシティはクレジット（合格）/ノークレジット（不合格）の選択への移行を進めています。遠隔授業がもたらす不可避な不平等性を無くすために、CSU と UC は 2020 年度の冬・春・夏において、A-G コースに関してはクレジット（合格）の成績を受け入れます。高等教育機関からのメッセージは明らかです。COVID-19 への対応として、学校区により制定された成績評価の変更により児童生徒が罰せられることはありません。

大学は学校プロフィールと呼ばれるすべての高校からの公式文書に大きく依存しています。学校プロフィールで、卒業要件、GPA 計算、オーナーズコース、SAT・ACT の平均点およびその他の学校特有な要素などを説明します。この場合、国家的パンデミックに直面した中でのクレジット（合格）/ノークレジット（不合格）への移行は罰されることなく説明・受理されます。この動きは一時的で 2020-2021 学年度に児童生徒・スタッフが学校に戻る時には中止されます。

さらに、スタンフォードのチャレンジサクセスプログラムと Grading for Equity(公平な成績評価)の著者である Joe Feldman 氏は、遠隔授業用の成績評価ガイドラインを発行しました。「*Guidance on Grading (成績評価のガイダンス) / Crediting Policies During COVID-19 (COVID-19 中の合格方針) and Recommendations for Grading During COVID-19 (COVID-19 中の成績評価への推薦事項)*」です。これらの研究は COVID-19 関連のストレスが児童生徒の学業的成績に悪影響を及ぼすと示唆しています。この悪影響を緩和するために、当学校区がクレジット (合格) / ノークレジット (不合格) へと移行することで、児童生徒・ご家族のために、今までと異なるこの学校環境下で、児童生徒が競って取り組んでいくというプレッシャーを取り除けます。このパンデミック中も、児童生徒の取り組みは評価されますが、この状況下で競って成果を出せなくても罰せられることはありませんので、ご家族はご安心ください。私たちの目的は遠隔授業実施中に、児童生徒の学習を継続的に支援し、児童生徒とのつながりを構築し、児童生徒を支援するための方法を見出していくことです。

教員、スタッフ、管理者は、児童生徒の学習への関心を高め、つながり、取り組みなどに引き続き注力していきます。教員は今後も日常的に連絡を取り、宿題を出し、取り組みへのフィードバックを与えると共に年齢に応じてオンライン討論フォーラムを開催し、児童生徒が必要な学習目標の理解を深めることができるように、さまざまな機会を確保するためのリソースを提供していきます。IUSD は引き続き児童生徒が次のレベルで成功するための準備に取り組んでいきます。

詳細情報・リソースについては、引き続き当学校区専用の COVID-19 リソースウェブページでご確認ください。iusd.org/COVID19 なお、このウェブページには、遠隔学習の情報と支援、メンタルヘルス・ウェルネスに関するリソースと連絡先、支援が必要なご家族のための食事とその他の支援、補強リソースとそれ以外の情報も掲載されています。

ご理解・ご協力ありがとうございます。

以上、よろしくお願いたします。



Terry L. Walker
Superintendent of Schools
Irvine Unified School District

BOARD OF EDUCATION

PAUL BOKOTA / LAUREN BROOKS / BETTY CARROLL / IRA GLASKY / SHARON WALLIN

TERRY L. WALKER, Superintendent of Schools

JOHN FOGARTY, Assistant Superintendent, Business Services / BRIANNE FORD, Chief Technology Officer
EAMONN O'DONOVAN, Assistant Superintendent, Human Resources / CASSIE PARHAM, Assistant Superintendent,
Education Services

IUSD . . . providing the highest quality educational experience we can envision.